

保証書

この製品は、厳密な品質管理を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示のうえ、修理をご依頼ください。保証規定により無償で修理いたします。

※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名

GPS-725EL

●保証期間

※お買い上げ年月日 年 月 日から **1年間**

※お客様

ご住所 〒

TEL () -

お名前

※販売店

店名・住所 〒

TEL () -

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4



MARUHAMA

GPS/VHF/UHF帯受信機

有機ELディスプレイ搭載

X/K 2バンド高感度ソーラーレーダー探知機

GPS-725EL

取扱説明書



GPS-725ELをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。




目次

1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. ご使用の前に	3
3. 製品の構成	5
4. 本機の特長	6
5. 各部の名称	11
6. 取付方法	12
1. 取付方法	12
2. 電源について	13
3. 太陽電池について	13
4. バッテリーローアラーム	14
5. オートパワーオフについて	14
6. 電池の寿命について	15
7. 電池の交換方法	16
7. 製品の使用	17
1. 本体の起動	17
2. 待機画面の表示モード	18
3. 待機画面の表示内容	19
8. 警告動作	21
1. GPS機能の使用	21
2. GPS機能の警告動作	22
3. レーダー受信機能の警告動作	29
4. 無線受信機能の警告動作	31
9. 機能の操作	35
1. 初期設定	35
2. 設定モードの操作	36
3. GPS機能の操作	39
4. パスメモリの登録	41
5. ゴーストアラームカット (GAC) エリアの手動登録・消去	42
6. その他の機能	43
7. 給油ガイド機能	44
8. 通過情報の表示	45
9. 消去モードの操作	46
10. 故障とお考えになる前に	47
11. 主な仕様	48







1. 安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を理解してから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。

■絵表示の例

-  △記号は気をつける必要があることを表しています(警告・注意)。
 ⊘記号はしてはいけないことを表しています(禁止)。図の中の表示は禁止の内容(左図は分解禁止)を示し、一般の表示は⊘です。
 ●記号はしなければならないことを表しています(強制)。図の中の表示は強制の内容(左図は差し込みプラグをコンセントから抜く)を示し、一般の表示は●です。

人身の安全のためにお守りいただくこと

-  ■本機を濡らさないでください。
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。
-  ■車を運転中に本機を操作しないでください。
車の運転中に、本機の操作(画面の確認を含む)を行うことは交通事故の原因となります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。
-  ■ケースは絶対に開けないでください。
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ■スピードの出しすぎにご注意ください。
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけてください。
-  ■発熱・異臭・発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。
これらの異常を検出した場合には、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。
- 

けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと



- 衝撃や強い振動を加えないでください。
衝撃や強い振動を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因になります。



- 高温時の取扱にご注意ください。
本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので、本機に触れる際には十分にご注意ください。



- ケースが汚れた場合には、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。



- シンナー・ベンジン・化学雑巾などを使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。

機能上の制約



- 日本国内で使用してください。
本機の仕様は日本国内となっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので使用できません。



- 周囲の環境により電波が受信しにくい場合があります。
前方に走行中の車(特に大型車)がいる場合やカーブ・坂道などでは電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは特に注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車での使用時も受信しにくい場合があります。



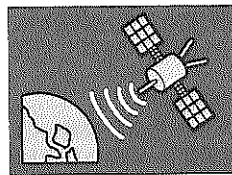
- 取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。
取締レーダー波以外にも同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドア及び車両通過計測器、港湾・航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが故障ではありません。

2. ご使用の前に

GPS 測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは地球の衛星軌道にある人工衛星からの信号を利用し位置情報を算出するシステムです。

本機ではこのシステムを利用して自車の走行状況を判断することで、あらかじめ登録されている速度取締機やNシステムなどへの接近などを警告します。これにより電波が発射されず従来型のレーダー探知機では警告することのできなかったループコイル式や光電管式の取締機についても警告を行うことができます。また、新たに設置された取締機や取締ポイントについても30ヶ所まで登録することが可能です。



■ Nシステム(自動車ナンバー自動読み取りシステム)とは

全ての走行車輛を必要に応じてデジタルカメラにて撮影を行う犯罪防止等を目的とする自動車ナンバー読み取り装置です。

■ 白バイ出没ポイントとは

違反車輛の後方を追尾し取り締まりを行う白バイが出没する区間のことです。主に、無人自動速度取締機(オービス)が設置されていない区間や担当警察管轄内のエリア内に出没します。

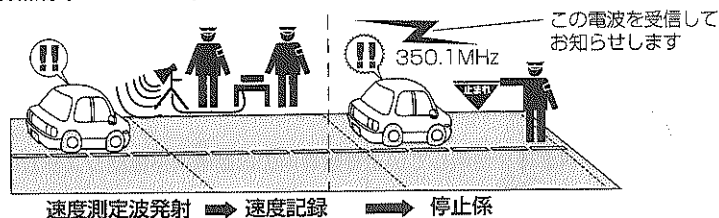
■ 駐車禁止エリアとは

駐車禁止重点地区として、取締やパトロールが強化されているエリアです。

受信機について

取締無線(350.1MHz)・カーロケーターシステム(カーロケ)電波・デジタル無線・靈活系無線・取締特小無線・レッカー無線・ヘリテレ無線(警察/消防)・新救急無線・消防無線・JH無線・ワイド無線・警察活動無線・警備無線を受信し、音声とE.L表示で警告します。

■ 取締無線(350.1MHz)とは

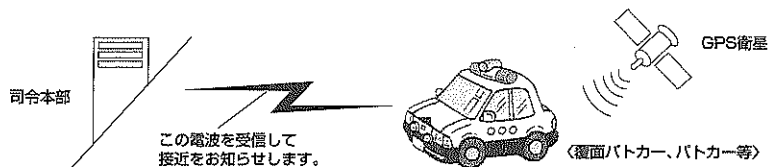


■ 取締特小無線(特小無線)とは

スピード違反などの取締現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われていることが一般的ですが、特定小電力無線が用いられる場合もあります。

■カーロケーターシステムとは

GPS で算出した警察車両などの位置情報を無線で定期的(間欠)に司令部に送信するシステムです。



■デジタルロケーターシステム (デジタル無線)とは

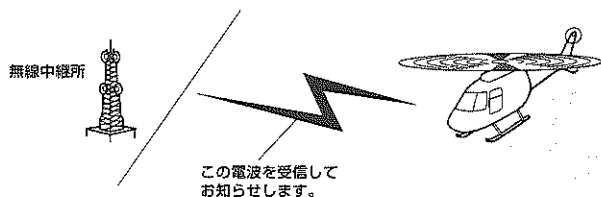
各都道府県警察本部と移動端末間で交信される時に使用されている電波のことで、移動端末から各都道府県本部へ送信する際に、160MHz 帯の周波数が使用されています。

■ポリロケーターシステム (署活系無線)とは

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察署との連絡に使用している無線です。

■ヘリテレ無線(警察ヘリテレ取締無線・消防ヘリテレ無線)とは

ヘリコプターから無線中継所へ送信される電波のことで、事件・事故や取締等の時、上空と地上で連絡を取るために使われています。



■レッカー無線とは

レッカー業者が連絡用に使用している無線です。

■消防無線とは

消防車の消火活動や、消防署との連絡に使用している無線です。

■新救急無線とは

救急車と消防本部の連絡用に使用される無線のうち、特定の地域で使用されている無線です。

■JH無線とは

東日本・中日本・西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。渋滞や工事・事故情報などの連絡に使われています。

■ワイド無線とは

336~338MHz 帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのことです。

■警察活動無線とは

警察関係車両で本部との連絡用に使用している無線です。イベントなどで警察官が交通整理を行うためなどにも使われています。

■警備無線とは

警備会社が連絡用に使用している無線です。

3. 製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。

- ①本体..... 1台
- ②取付ステー..... 1個
- ③カー電源コード..... 1本
- ④両面テープ..... 1枚
- ⑤取付ネジ(M3×8)..... 2個
- ⑥取扱説明書兼保証書(本冊子)..... 1冊



4. 本機の特長

GPS 警告機能

■各種警告ガイド機能

メモリされている取締機への警告では、制限速度を音声とE L表示でお知らせするとともに、走行速度の状況に応じたアナウンスと表示動作を行います。また、取締機への距離も合わせて表示します。通過時には通過速度を音声とE L表示でお知らせします。

●取締機 (P22・23参照)

全国のオービス (速度取締機) を約650箇所登録しています。

●取締ポイント (P25参照)

速度取締りが頻繁に行われているポイントを取締りポイントとして登録済み。

●Nシステム (ナンバー自動読みとりシステム)(P26参照)

約1700箇所登録しています。

●SA (サービスエリア)・PA (パーキングエリア)(P27参照)

約800箇所登録しています。

全国のサービスエリア・パーキングエリアを登録済み。約2キロ手前で、併設されている給油所の営業情報も併せてお知らせします。

●オリジナルポイント (P24・39参照)

最大30箇所まで登録できます。

■オートマティック イノベーション システム (AIS)

走行状況を自動的に判断し、道路種モード (オール・高速・一般) を自動的に切り替えます。

従来の製品に必要なだった走行道路 (一般道・高速道) の設定が必要なく、異なる道路種に設置された取締機に対して発生していた誤警報を防止します。

※走行場所・環境により、走行道路の種類を正しく判断できない場合があります。その場合は、自動的にオールモードに設定され、すべての取締機に対して警告を行います。

■駐車禁止エリア (P26参照)

登録されている駐車禁止エリアへの侵入時に警告します。また、駐車禁止エリアからの離脱時まで継続してアイコン表示をおこないます。

■白バイ出没ポイント (P26参照)

登録されている白バイ出没ポイントへの接近時に警告します。

■GPS警告の低速ボイスカット機能 (P30・34・37参照)

メモリしてある取締機への接近時、設定された速度以下での低速走行や停車中の警告ボイスを自動的にカットします。

■最終通過速度確認機能 (P40参照)

最後に通過した取締機またはオリジナルポイントでの通過速度を確認することができます。

無線受信機能

■速度取締現場の連絡無線 (取締無線・特小無線) が受信可能 (通話音声対応) (P33参照)

取締現場で測定係と停止係が交わす無線を受信できます。

■カーロケーターシステム電波 (カーロケ) が受信可能 (P31参照)

407MHz帯のカーロケ電波を受信できます。緊急車両の自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。

ただし、一部地域や車両にこのシステムが導入されていない場合があります。

■デジタル無線が受信可能 (P31参照)

160MHz帯のデジタル無線を受信できます。

■署活系無線が受信可能 (P32参照)

UHF帯の警察署活系無線を受信できます。

■接近離反のお知らせ機能 (P31・32参照)

カーロケ・デジタル・署活系無線については、発信車両の接近離反を判断しお知らせします。

■警察/消防ヘリテレ無線 (通話音声対応) (P33参照)

ヘリコプターから無線中継所に送信される電波をキャッチすることにより、いち早く事件・事故等の場所を知ることができ、安全な走行ができます。

ただし、一部地域やヘリコプターにこのシステムが導入されていない場合があります。

■レッカー無線対応 (通話音声対応) (P33参照)

レッカー移動の連絡などに使われる無線電波をキャッチしてお知らせします。

■新救急無線・消防無線対応 (P32参照)

救急車や消防車から送信される電波をキャッチすることにより、いち早く事件・事故等の場所を知ることができ、安全な走行ができます。

■JH無線 (通話音声対応) (P33参照)

高速道路での渋滞や工事、事故情報等でパトロール車両と本部との連絡に使われる無線電波をキャッチしてお知らせします。

■ワイド無線 (P32参照)

336~338MHz帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムです。移動警察電話 (移動警電) とも言います。

■警察活動無線 (P32参照)

警察関係車両で本部との連絡用に使われる無線をキャッチしてお知らせします。

■警備無線 (P32参照)

警備会社が連絡などに使われる無線電波をキャッチしてお知らせします。

■トラップゲートモード搭載 (P34参照)

E L表示と専用アラームで取締検問などの可能性が高いことをお知らせします。

■バスメモリ機能搭載 (P41参照)

不要なチャンネルを記憶し、受信しないようにできます。

注意

- カーロケ無線・デジタル無線・署活系無線・ワイド無線・警察活動無線・警備無線はデジタル化されており通話内容を聞くことはできません。
取締無線・特小無線・警察／消防ヘリテレ無線・レッカー無線・JH無線は通話音声に対応していますが、地域によってデジタル化されていたり、受信電波が弱い場合などには、通話内容を聞けない場合があります。
- レッカー無線は業務用無線の一種ですので、レッカー移動とは関係ない業務で使用されている無線をキャッチする場合があります。
- 無線受信機能のうち、特小無線・警察／消防ヘリテレ無線・レッカー無線・新救急無線・消防無線・JH無線・ワイド無線・警察活動無線・警備無線はカー電源コードを使用しない状態では受信しません。

レーダー機能

■X/Kの2バンド対応

XバンドだけでなくKバンドにも対応。全てのレーダー式スピード取締機に対応します。

■4モード感度切替・オート感度切替機能 (P19・29・37参照)

市街地など低速での走行時にはノーマルモードに、高速道路や自動車専用道路など高速での走行時には遠方からのレーダー波もキャッチするエクストラモードへ、走行状況に合わせレーダーの受信感度の切り替えができます。

またオート感度モードに設定すると、車速に応じて適切な感度に自動的に切り替わります。

■ステルス／新Hシステム対応 (P29参照)

新開発のハイゲイン・ホーンアンテナとD.D.C.回路によりクイックレスポンスを実現。微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。

※ステルス識別モードはステルス型スピード取締に完全対応しているわけではありません。先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。

■ゴーストアラームカット (GAC)機能搭載 (P30・42参照)

自動ドアによる誤動作など、レーダーの誤動作の発生位置を自動的に学習し、不要なアラーム音をカットします。自動登録のほか、手動登録も可能です。

■オートアラームカット (AAC)システム搭載 (P30・34・37参照)

設定車速よりも低速で走行している時のレーダーアラーム音をカットします。

■オートミュート機能 (P30参照)

一定時間レーダー波を受信し続けると警告音の音量が小さくなります。

その他

■ELディスプレイ搭載 (P18参照)

ライトブルー・オレンジ・グリーンカラーの鮮やかな3色表示有機ELディスプレイを採用し、多彩な情報をイラストやアニメーション、各種アイコンでわかりやすく表示します。

また、表示モードから表示内容(時計表示・速度表示・コンパス表示・緯度経度表示・距離計表示・衛星表示)を選択できます。

■ドライビング・サポート・インフォメーション(DS1)

豊富な音声ガイドとフルドットEL表示で情報を表示、今までにない多彩な情報をアイコンやアニメーションなどでわかりやすく表示します。待機時には速度などの走行情報を表示します。

■電子ボリューム機能 (P36・37参照)

音量の調節に電子ボリューム機能を搭載しています。

■給油ガイド機能・休息ガイド機能を搭載 (給油ガイド機能はP44参照・休息ガイド機能はP43参照)

走行距離や燃料消費を自動的に計算し、必要に応じて給油ガイドを行います。

■ミュート機能 (P43参照)

警告音を一時的に消すことができます。

■交通安全週間対応機能 (P43参照)

交通安全週間の期間中、製品起動時に警告します。

■ナイトディマー機能 (P38参照)

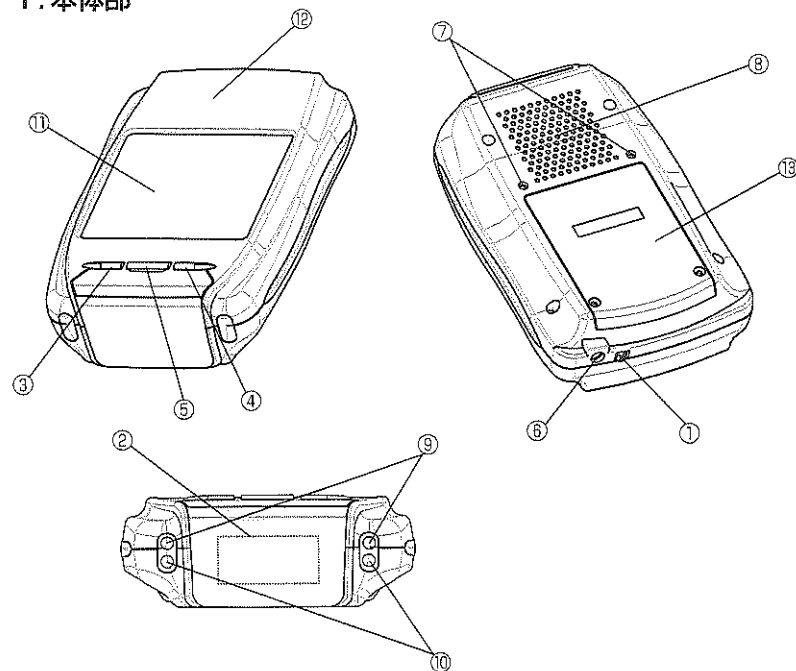
※ナイトディマー機能

夜間になるとEL表示とランプの光量を抑え、眩しさを防ぎます。

期 間	夜 間
2月~4月・8月~10月	18時~6時
5月~7月	19時~5時
11月~1月	17時~7時

5. 各部の名称

1. 本体部



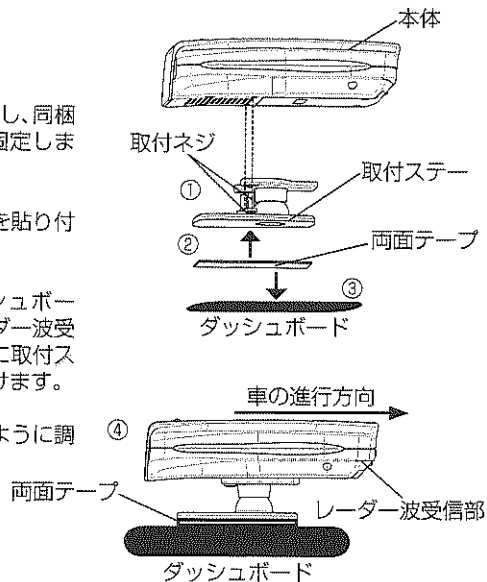
- ①電源スイッチ(Power)…… 本体の電源をON/OFFします。
- ②EL表示部…… 警告や状態表示を行います。
- ③LEFT/MEMOボタン…… オリジナルポイントを記録します。設定モードでも使用します。
- ④MUTE/RIGHTボタン…… 警告のミュートやアラームテストを行います。設定モードでも使用します。
- ⑤ENT/FUELボタン…… 設定モードの呼び出し、変更などに使用します。
- ⑥電源ジャック(DC IN)…… 充電時などに付属のカー電源コードを接続します。
- ⑦取付ステー装着部…… 取付ステーを装着します。
- ⑧内蔵スピーカ…… 警告音声などを出力します。
- ⑨アラームランプ(赤)…… 警告時に点滅します。
- ⑩振動ランプ(青)…… 振動の少ない状態を検出すると速く点滅します。
- ⑪太陽電池部…… 太陽光を受けて発電し、内蔵の電池に充電します。
- ⑫GPS受信部…… 人工衛星からの信号を受信します。
- ⑬電池カバー

6. 取付方法

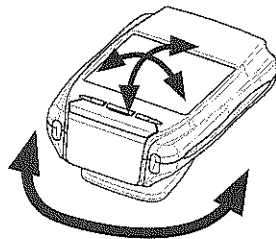
1. 取付方法

(1) ダッシュボードへの取付

- ① 付属の取付ステーを本体に取付し、同梱のネジで2箇所締め、しっかり固定します。
- ② 取付ステーに付属の両面テープを貼り付けます。
- ③ 両面テープのもう一方でダッシュボードへ貼り付けます。この時、レーダー波受信部が車の進行方向を向くように取付ステーをダッシュボードへ貼り付けます。
- ④ 本体の角度を地面と水平になるように調整してください。



※矢印の方向に角度が調整できます。



ご注意

- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
- エアバックの近くには取り付けしないでください。

警告

■ 高温時の取り扱いにご注意ください。

本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので本機に触れる場合は十分にご注意ください

2. 電源について

本機は太陽電池を使い、太陽光から内蔵のニッケル水素電池に充電して使用する製品です。

(1) ご使用になる前に

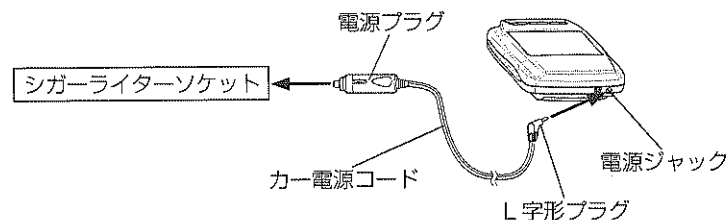
初めてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は、付属のカー電源コードで10時間以上充電してからご使用ください。

本機を使用しながら(電源ONの状態)充電することができます。

(2) カー電源コードで充電・使用するには

付属のカー電源コードにより外部電源(車のアクセサリ電源)を本体に接続し、内蔵の電池に充電します。

カー電源コードのL字形プラグを本体の電源ジャックに、電源プラグを車のシガーライターソケットにそれぞれ差し込みます。



ご注意

- カー電源コードを使用する場合、車のエンジンが停止していると充電されません。
- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますのでよく掃除してから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。

3. 太陽電池について

電源が入ってなくても充電されます。

受信機のON / OFFにより、連続動作時間は変化します。

太陽電池で十分な充電ができない場合はカー電源コードをご使用ください。

ご注意

- 夏季や冬季の駐車中では車内の温度が極端に高くなったり低くなったりします。そのため電池の充電時間が変化する場合があります。
- 雨天・曇天時や夜間などでは十分に充電することができません。
- 太陽電池全面に太陽光が当たらないと十分な充電ができません。

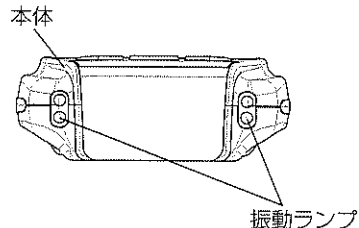
4. バッテリーローアラーム

電池が消耗し残量が少なくなると、GPS 機能を停止し音声でお知らせします。さらに電池が消耗しますと、全機能を停止し、ボタン操作を受け付けなくなります。その場合は、カー電源コードを使用して充電してください。

電池残量	音声ガイド
残量低下	"充電してください。GPS を解除しました。" ※GPS 機能のみ停止します。レーダー受信機能・無線受信機能は引き続き使用することができますが、カー電源コードを使用して充電することをお奨めします。
使用不可	"充電してください。" ※全ての機能が停止します。

5. オートパワーオフについて

本機内蔵の振動センサーにより、約3分間振動がない状況が続くと次に振動を感知するまで自動的に電源を切り、電池の消耗を防ぎます。振動の感知状況は振動ランプで確認できます。



	振動ランプ
振動あり	遅い点滅
振動なし	速い点滅

振動センサーの動作確認

- ① 車を走行させます
↓ 車を走行させて振動ランプの点滅が遅くなることを確認してください。
- ② 走行速度を落します
↓ 低速走行またはアイドリング状態で振動ランプの点滅が速くなることを確認してください。
- ③ 停車します
↓ 停車してから約3分後にすべてのランプが消灯し自動的に動作停止することを確認してください。
- ④ 車を走行させます
↓ 車を走行させてから数秒後に動作を開始することを確認してください。
※①～④で正常に動作しない場合は"振動センサーの感度設定"(P.38)に基づいて感度を切替えてください。
※①で車を走行させても振動ランプの点滅が遅くならないときは、振動センサーの感度を高く設定してください。
※②でアイドリング状態で振動ランプの点滅が遅くならないときは、振動センサーの感度を低く設定してください。

注意

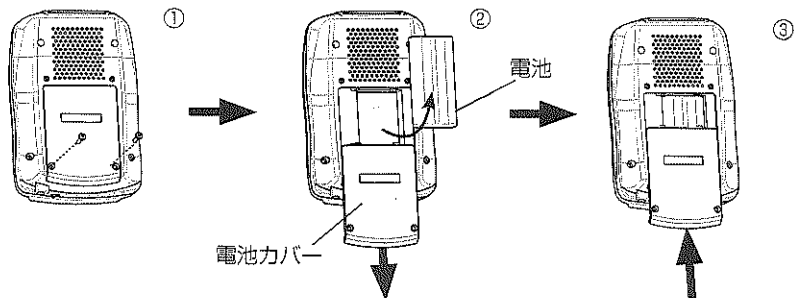
- 振動センサーの感度を低く設定するとオートパワーオフ機能により動作停止状態のままになり、車を走行させても動作を再開しない場合があります。
- 振動や騒音の激しい場所などではオートパワーオフ機能が正常に動作しない場合があります。そのような状況で長時間駐車する場合は電源を切ってください。

6. 電池の寿命について

本体内蔵の電池は使用状況にもよりますが約3年が寿命です。十分に充電しても電池のみでは長時間作動しなくなった場合は、電池の寿命がきています。その場合は、付属のカー電源コードをご使用になることで通常通り動作させることができます。
※電池を交換される場合は本体ごとお買い上げの販売店にお持ちになり、交換をご依頼ください。

7. 電池の交換方法

- ①ネジを2箇所外します。
- ②電池カバーをスライドさせて外し、電池を出します。
- ③新しい電池を逆の手順で交換し、電池カバーをスライドさせてしめてください。
そして、ネジを2箇所締めてください。



注意

- 本機は専用の電池を使用しています。安全のために専用電池以外は使用しないでください。新しい電池についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

7. 製品の使用

1. 本体の起動

電源が入ると、オープニング表示後、待機画面が表示されます。



本機は工場出荷時に初期設定しています。初めてお使いになる場合でも、各種設定をしなくても電源を入れるだけでご使用できます。

工場出荷時の設定

工場出荷時点では、次のように設定されています。

設定項目	設定内容	参照ページ	種別
音量	7(最大)	P36・37	共通
表示モード	時計表示モード	P18・37	
道路モード	オート切替モード	P19・21・37	GPS機能
レーダー感度	オート感度モード	P19・29・37	レーダー機能
取締無線	ON	P33	無線受信機能
カーロケ無線	ON	P31	
デジタル無線	ON	P31	
警活系無線	ON	P32	
特小無線	OFF	P33	
レッカー無線	OFF	P33	
警察ヘリテレ無線	OFF	P33	
消防ヘリテレ無線	OFF	P33	
新救急無線	OFF	P32	
消防無線	OFF	P32	
JH無線	OFF	P33	
ワイド無線	OFF	P32	
警察活動無線	OFF	P32	
警備無線	OFF	P32	
AAC(オートアラームカット)	ON・40キロ	P30・34・37	共通
取締ポイント	ON	P22	GPS機能
Nシステム	ON	P26	
SA/PA	ON	P27	
駐車禁止エリア	ON	P26	
白バイ出没	ON	P26	
振動センサ感度	H(高感度)	P20・38	共通
燃費設定	未設定	P38	
タンク容量	未設定	P38	
昼間輝度	H(高輝度)	P38	
夜間輝度	M(中輝度)	P38	
強制点灯	OFF	P20	

設定項目	設定内容	参照ページ	種別
オリジナルポイント	未登録	P39	GPS機能
GPSアラームカット	未登録	P40	
ゴーストアラームカットエリア	未登録	P42	レーダー機能
パスメモリ	未登録	P41	無線受信機能

注意

●各種設定を変更する場合は、本書をよくお読みのうえ、必要な項目のみ変更してください。

ちょっと一言

・設定内容を初期化したいときは、消去モードから操作してください。(P46 参照)

2. 待機画面の表示モード

待機画面では各種表示モードを選択することができます。

表示モードの切替

待機画面の表示モードの切り替えは、設定モードで行います。(P36・37参照)

表示モード	待機画面の表示例	備考
時計表示モード		現在時刻と日付情報を表示します。
速度表示モード		走行速度をレベルゲージと数値で表示します。
コンパス表示モード		進行方向に対する北方位を示すコンパスを表示します。
緯度経度表示モード		現在の自車位置を緯度経度表示します。
距離計表示モード		起動してからの走行距離、走行時間、累積の走行距離を示す簡易トリップメータを表示します。
衛星表示モード		今現在受信している衛星数を表示します。

注意

●時計表示、距離計表示モード以外の表示モードでは、GPS 測位できていないと情報を表示することができません。

●カー電源コードを未使用で、強制点灯の設定がOFF になっている場合は、待機中はEL ディスプレイを表示しません。

強制点灯の設定は設定モードで変更することができます。(P36 参照)

3. 待機画面の表示内容

待機画面では、表示モードで選択した表示内容のほかに、主な設定状況やGPS の測位状況をアイコンで表示します。

(1) 設定の表示内容



No	項目	状態	アイコン	機能
①	道路モードの設定 (P21・37参照)	オールモード		高速道・一般道のGPS ポイントを警告します。
		高速モード		高速道路のGPS ポイントだけを警告します。
		一般モード		一般道路のGPS ポイントだけを警告します。
②	レーダー感度の設定 (P29・37参照)	エクストラモード		最高感度です。高速道路の走行などに適しています。
		ウルトラモード		↑ 高感度
		スーパーモード		↓ 低感度
		ノーマルモード		最低感度です。一般道・市街地などでの走行に適しています。
③	GPS の測位状況 (P28 参照)	測位中		GPS を測位中です。
		サーチ中		GPS 測位できていません。この状態では、GPS 機能は働きません。
④	駐車禁止エリア (P26 参照)	駐車禁止エリア内		駐車禁止エリア内にいるときに点灯します。

No	項目	状態	アイコン	機能
④	振動感度の設定 (P38参照)	SH		振動センサーの感度が最高感度に設定されています。
		H		振動センサーの感度が高感度に設定されています。
		L		振動センサーの感度が低感度に設定されています。
		SL		振動センサーの感度が最低感度に設定されています。
⑤	電源状態 (P13参照)	電池残量 ↑ 多 ↓ 少		電池残量を表します。
		カー電源コード使用時		カー電源コード使用時に点灯します。

※振動感度の設定は、オートパワーオフ機能に影響します。(P14参照)

※④の表示は、駐車禁止のアイコンが優先に表示されます。また、駐車禁止以外の状態の場合は、振動感度の設定のアイコンが表示されます。

※道路モードの設定、レーダー感度の設定は、オートの場合、各アイコンの右上に「A」と表示します。

(例)



(2) ディスプレイ光量の設定

ディスプレイの光量は、昼間と夜間それぞれで3段階の設定から選択することができます。

ディスプレイ光量の切り替えは、設定モードで行います。(P38参照)

(3) 強制点灯のON / OFF

設定モードにより強制点灯のON / OFF を切り替えることができます。(P38参照)

カー電源コード未使用時の点灯・消灯を設定することができます。(P38参照)

強制点灯をOFFにすると、警告後やボタン操作時以外の待機表示は表示されません。

カー電源コード使用時	常時点灯	※強制点灯の設定は反映されません。	
カー電源コード未使用時	強制点灯	H	カー電源コード未使用時に待機画面を表示します
		L	カー電源コード未使用時に待機画面を最低輝度で表示します
		OFF	カー電源コード未使用時に待機画面を表示しません

※電池残量の消費は、強制点灯の状態がOFF・L・Hの順に早くなります。

強制点灯での使用は電池の消費が早くなりますので、カー電源コードの使用をお奨めします。

8. 警告動作

1. GPS機能の使用

エンジンを始動し、動作を開始したあとGPS測位が確定すると、「ポーン、GPSを測位しました」と音声で案内し、GPS測位が完了したことをお知らせします。

注意

●測位が完了するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は遮蔽物のない場所で車を停車するなどして測位を完了させてください。

警告の対象とする道路種

待機画面の道路モード表示により、警告対象の道路種の設定を表示します。

走行する道路に合わせ、必要に応じて道路モード設定を行ってください。

※設定方法はP36・37参照

道路モード	警告対象	道路モード表示
オールモード	全ての道路の設置ポイント	
高速モード	高速道路に設置されたポイントのみ	
一般モード	一般道路に設置されたポイントのみ	
オート切替モード	走行状態に応じて	

ちょっと一言

- 工場出荷状態では、道路モードはオート切替モードになっています。オート切替モードでは本機自身が走行状態を判断し、適切な道路モードを自動的に設定します。
- 道路種のオート切替機能は、走行条件やGPSの測位状況によっては正常に道路モードを設定できない場合があります。その場合自動的にオールモードが選択されますのですべてのポイントを警告対象として動作します。
※道路状況によりオート切替モードが正常に動作しない場合があります。この場合、任意の道路モードに変更して下さい。

2. GPS 機能の警告動作

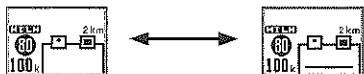
本製品にあらかじめ登録されているプリセットポイント(取締機及び取締ポイント)と、お客様が登録されたオリジナルポイントに接近するとアニメーション、アラームランプ、音声によりお知らせします。

(1) 取締機に対する警告動作

警告動作

① 2km 手前

取締機の種類を示すアニメーション、アラームランプ、音声により警告します。
警告例) "ポーン、高速道路、取締機に注意してください"



② 約1km 手前

取締機の種類を示すアニメーション、アラームランプ、音声により警告します。



警告例) "ポーン、制限速度は80キロ未満です。
1キロ先の高速道路、LHシステムに注意してください"

③ 1km~500m

取締機までの距離と制限速度情報をアニメーション、アラームランプ、音声により一定時間毎に警告します。
※車速が一定以下の場合には警告しません。



警告例) "ポーン、速度オーバーです。
LHシステムに注意してください。"(速度オーバーで走行時)
"ポーン、安全速度です。
LHシステムに注意してください。"(制限速度以下で走行時)

④ 500m 手前

取締機の種類を示すアニメーション、アラームランプ、音声により警告します。



警告例) "ポーン、500m先の高速道路、LHシステムに注意してください"

⑤ 500m~200m

取締機までの距離と制限速度情報をアニメーション、アラームランプ、音声により一定時間毎に警告します。
※車速が一定以下の場合には警告しません。



警告例) "ポーン、速度オーバーです。
LHシステムに注意してください。"(速度オーバーで走行時)
"ポーン、安全速度です。
LHシステムに注意してください。"(制限速度以下で走行時)

⑥ 200m 手前

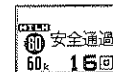
速度情報と接近アニメーション、アラームランプ、音声により警告します。



警告例) "危険です、危険です、危険です....."(速度超過15km/h以上)
"注意してください、注意してください..."(速度超過15km/h以下)

⑦ ポイント通過

ポイント通過時の速度と通過回数を表示します。



警告例) "ポーン、通過速度は70キロ未満です"

ちょっと一言

- ・ポイント通過の累積は、本機にあらかじめ登録されている設置型取締機に対する通過時のみ加算されます。
取締ポイントおよびオリジナルポイントの通過では加算されません。

(2) オリジナルポイントに対する警告動作

警告動作

1 約1km 手前

オリジナルポイントを示すアニメーション、アラームランプ、音声により警告します。



警告例) "ポーン、1キロ先のオリジナルポイントに注意してください"

2 1km~500m

オリジナルポイントまでの距離と速度情報をアニメーション、アラームランプ、音声により一定時間毎に警告します。

※車速が一定以下の場合には警告しません。



警告例) "ポーン、オリジナルポイントに注意してください"

3 500m 手前

オリジナルポイントを示すアニメーション、アラームランプ、音声により警告します。

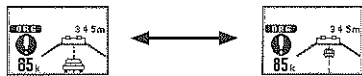


警告例) "ポーン、500m先のオリジナルポイントに注意してください"

4 500m~200m 手前

オリジナルポイントまでの距離と速度情報をアニメーション、アラームランプ、音声により一定時間毎に警告します。

※車速が一定以下の場合には警告しません。



警告例) "ポーン、オリジナルポイントに注意してください"

5 200m 手前

速度情報と接近アニメーション、アラームランプ、音声によりお知らせし警告します。



警告例) "注意してください、注意してください..."

6 ポイント通過

ポイント通過時の速度を表示します。



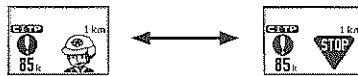
警告例) "ポーン、通過速度は、90キロ未満です"

(3) 取締ポイントに対する警告動作

警告動作

1 約1km 手前

取締ポイントを示すアニメーション、アラームランプ、音声により警告します。



警告例) "ポーン、一般道路、検問に注意してください"

2 1km~500m

取締ポイントまでの距離と制限速度情報をアニメーション、アラームランプ、音声により一定時間毎に警告します。

※車速が一定以下の場合には警告しません。



警告例) "ポーン、検問に注意してください"

3 500m 手前

取締ポイントを示すアニメーション、アラームランプ、音声により警告します。



警告例) "ポーン、一般道路、検問に注意してください"

(4) Nシステムに対する告知動作

Nシステムへの接近を検出すると、アイコンとイラストを表示し告知します。



告知例) "ポーン、接近しました"

(5) 駐車禁止エリアに対する告知動作

駐車禁止エリアへの進入を検出すると、アイコンとイラストを表示し告知します。



告知例) "ピンポーン"

(6) 白バイ出没ポイントに対する告知動作

白バイ出没ポイントへの接近を検出すると、アイコンとイラストを表示し告知します。



告知例) "ポーン、接近しました"

(7) SA (サービスエリア) / PA (パーキングエリア) に対する告知動作

サービスエリア・パーキングエリアへの接近を検出すると、アイコン画像を表示し告知します。



サービスエリア



パーキングエリア

告知例) "ポーン、接近しました"

SA (サービスエリア) / PA (パーキングエリア) の告知時には、ガソリンスタンドの設置・営業状況をアイコン表示でお知らせします。

ガソリンスタンドの設置・営業状況	アイコン表示
設置なし	
24時間営業	
営業時間内	
閉店時間	

ご注意

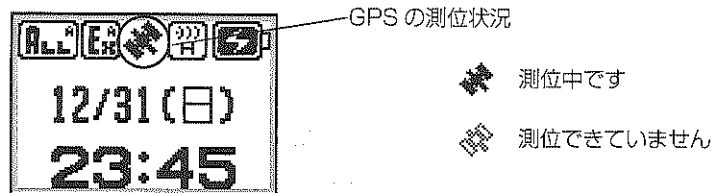
- ガソリンスタンドの設置状況や営業時間は変更されている場合があります。お知らせする情報は参考とし、正確な情報は道路の管理会社などから入手するようにしてください。
- 道路モードの選択に関わらず、設定機能でSA (サービスエリア) / PA (パーキングエリア) の設定がOFFになっている場合、告知動作は行いません。

ちょっと一言

・連続2時間以上走行している状態の場合、SA (サービスエリア) / PA (パーキングエリア) の告知時に音声での休憩ガイドを行います。ガイドボイス "休みませんか?"

(8) GPS機能に対するご注意

遮蔽物に囲まれるなど走行中にGPS測位ができなくなった場合、測位できていないことを待機画面の表示と音声("GPS測位できません")でお知らせします。この場合GPS警告を行うことはできませんのでご注意ください。
また、GPS測位した時にも待機画面の表示と音声("GPSを測位しました")でお知らせします。



警告ボイスは、GPSの測位状況により発生しない場合があります。
警告開始後、横道に入り方向転換するなどして危険を回避した場合、警告動作を終了します。
本機ではレーダー受信よりもGPS警告を優先します。このためGPS警告中はGPS警告の優先表示となり、レーダーの受信動作は行いません。

ちょっと一言

- ・距離の案内音声は、ポイントまでの距離に応じて"1キロ以内"や"500m以内"に変化します。
- ・道路種の音声案内は、ポイントに応じて"高速道路"または"一般道路"となります。
- ・取締機の場合は、警告ポイントの取締種別によって種別アイコンの内容と警告ボイスが変化します。
取締機の種類：LHシステム・Hシステム・ループコイル式オービス
レーダー式オービス・NHシステムなど
- ・通過速度の音声案内は、40キロ未満から150キロ以上まで10キロ刻みでお知らせします。
- ・トンネル直後に設置されている取締機についてはトンネル進入前にお知らせします。
警告例) "ポーン、トンネル出口の一般道路、Hシステムに注意してください"
- ・GPS警告中、車の走行速度がAAC設定車速よりも低い場合、一定時間毎の警告ボイスを自動的にカットします。

3. レーダー受信機能の警告動作

(1) レーダー受信動作

速度取締レーダー波を受信すると、EL表示、アラームランプ、警告アラームによりレーダー波の受信をお知らせします。レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれて、警告音及びレベルの表示メータが変化します。またステルス波を受信した場合、通常とは異なる警告を行います。

	通常のレーダー波	ステルス波受信時
EL画面		
アラーム音	電波が強いほど、アラーム音の鳴る間隔が短くなります。	ステルス専用音声とアラームで警告します。 音声"ステルスをキャッチしました"

(2) レーダー受信感度の切替

レーダー感度は、走行状況に応じて自動的にレーダー感度が切り替わるオート感度切替モードと、4段階の中から任意の感度に設定して使用するマニュアル感度モードから選択することができます。

動作モード	選択感度	備考
オート感度モード	エクストラ/ウルトラ	走行状況を判断し、自動的に適切な感度に設定します
	スーパー/ノーマル	
マニュアル感度モード	エクストラモード	感度 ↑高 ↓低
	ウルトラモード	
	スーパーモード	
	ノーマルモード	

ご注意

- 本機はステルス型取締に対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも周囲の状況などによりステルス専用アラームが鳴る場合があります。

ちょっと一言

- ・オート感度モードでGPSが測位できない場合は、自動的に最高感度のエクストラモードに選択されます。

(3) オートミュート機能

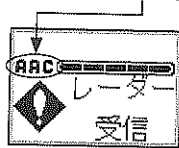
レーダー波を一定時間受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります。

※レーダー波を受信した場合は20秒、ステルス波を受信した場合は10秒に設定されています。

(4) オートアラームカット(AAC)システム

設定速度未満での低速走行時にはレーダーアラーム音をカットします。設定速度は、40キロ・50キロ・60キロから選択することができます。

AAC動作中は、レベルメータ表示部に「AAC」と表示されます。



ちょっと一言

- ・ AACの設定がOFFの場合は、AACは機能せず低速走行時でもアラーム音を出力します。
- ・ GPS測位できていない場合、アラーム音はAACの設定に関わらず出力されます。

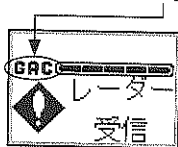
(5) ゴーストアラームカット(GAC)機能

GPS機能を利用し、自動ドアなどの電波によるレーダー誤受信の発生位置を自動的に記憶することで、不要なアラーム動作を排除します。

※登録時には、「ボン、不要な電波を消去しました」と音声でお知らせします。

GACエリアでのレーダー受信時のアラーム出力を停止します。

GAC動作中は、レベルメータ表示部に「GAC」と表示されます。



自動登録の他にも手動で登録することができます。(P42参照)

ちょっと一言

- ・ 設置型あるいはネズミ捕りなどの速度取締によるレーダー波を、同じ場所で2日連続受信した場合に、誤ってGACエリアとして登録することがあります。この場合は、手動での消去操作を行ってください。(P42参照)
- ・ 自動的に登録されたGACエリアで、30日以上レーダー波を受信しなかった場合、いったん消去されます。手動で登録されたエリアは自動消去されません。(P42参照)
- ・ GPSの測位状況によっては、GACエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。

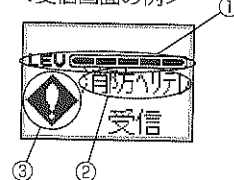
4. 無線受信機能の警告動作

VHF・UHF帯を使用している警察・取締および緊急車両関連の電波を受信し、E.L表示、アラームランプ、音声によりお知らせします。

一部の受信バンドについては、会話の内容を聞くことができます。

受信バンドごとに、設定をON/OFFすることができます。(P36・37参照)

<受信画面の例>



- ①: 受信レベルメータ
キャッチした電波の強度を表示します。
- ②: 受信バンド表示
受信した電波の種類と状況に応じた画面を表示します。
- ③: 受信アイコン表示
受信内容に応じて変化します。

(1) カーロケ無線の受信

受信状況に応じて表示を行い、ガイド音声でお知らせします。

受信内容	ガイド音声	表示例
初回受信	♪カーロケをキャッチしました	↔
接近	♪緊急車両が接近しました 注意してください	↔
離反	♪緊急車両が遠ざかりました	↔

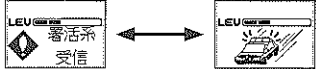


(2) デジタル無線の受信

受信状況に応じて表示を行い、ガイド音声でお知らせします。

受信内容	ガイド音声	表示例
初回受信	♪デジタル無線をキャッチしました	↔
接近	♪緊急車両が接近しました 注意してください	↔
離反	♪緊急車両が遠ざかりました	↔

(3) 署活系無線の受信

受信状況に応じて表示を行い、ガイド音声でお知らせします。


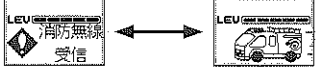



受信内容	ガイド音声	表示例
初回受信	♪署活系無線をキャッチしました	
接近	♪緊急車両が接近しました 注意してください	
離反	♪緊急車両が遠ざかりました	

ご注意

- カーロケ無線・デジタル無線・署活系無線はデジタル化されています。受信しても通話内容を聞くことはできません。
- カーロケターシステムが配備されていない地域や緊急車両もあります。また、配備されている場合でも常に電波をだしているとは限りませんので、緊急車両が接近してもお知らせできない場合があります。

(4) 新救急無線・消防無線・ワイド無線・警察活動無線・警備無線の受信

受信した電波の種類に応じて表示を行います。

受信バンド	ガイド音声	表示例
新救急無線	♪緊急車両をキャッチしました	
消防無線	♪緊急車両をキャッチしました	
ワイド無線	♪キャッチしました	
警察活動無線	♪キャッチしました	
警備無線	♪キャッチしました	

ご注意

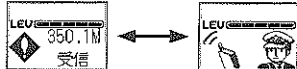



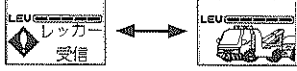

- 新救急無線・消防無線・ワイド無線・警察活動無線・警備無線は、カー電源コードを使用しない状態では受信しません。

(5) 取締無線・特小無線・警察ヘリテレ無線・消防ヘリテレ無線・レッカー無線・JH無線の受信

受信した電波の種類に応じて表示を行います。

交信の受信音声を聞くことができます。

電波の受信が途切れた後に、ガイド音声で受信した電波の種類をお知らせします。

受信バンド	ガイド音声	表示例
取締無線 (350.1MHz)	♪取締無線をキャッチしました	
特小無線 (422MHz帯)	♪取締無線をキャッチしました	
警察ヘリテレ無線	♪ヘリテレ無線をキャッチしました	
消防ヘリテレ無線	♪ヘリテレ無線をキャッチしました	
レッカー無線	♪取締無線をキャッチしました	
JH無線	♪キャッチしました	

ご注意


- 特小無線・警察/消防ヘリテレ無線・レッカー無線・JH無線は、カー電源コードを使用しない状態では受信しません。

ちょっと一言

- ・各受信バンドは、地域によりデジタル化されている場合があります。その場合、受信しても通話内容を聞くことはできません。
- ・通信の交信時間が短い、あるいは電波状況が悪いなどの状況により交信の受信音声が充分聞き取れない場合があります。
- ・レッカー無線は一般の業務用無線の割り当ての一部ですので、レッカー移動以外での交信を受信する場合があります。

(6) トラップゲートモード

複数の警察関連無線を受信した場合、取締検問の可能性が高いと判断し、E L表示を行いガイド音声でお知らせします。

ガイド音声	表示例
<p>検問に注意してください 危険です</p>	

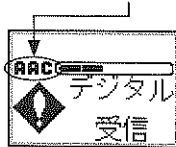
注意

- トラップゲートアラームが鳴らなくても取締が行われている場合がありますのでご注意ください。

(7) オートアラームカット(AAC)システム

停車中にはガイド音声をカットします。

AAC動作中は、レベルメータ表示部に「AAC」と表示されます。



ちょっと一言

- ・ AACの設定がOFFの場合は、AACは機能せず停車中でもガイド音声を出力します。
- ・ GPS測位できていない場合、アラーム音はAACの設定に関わらず出力されます。

9. 機能の操作

1. 初期設定

工場出荷時点では、次のように設定されています。

設定項目	設定内容	参照ページ	種別	
音量	7(最大)	P36・37	共通	
表示モード	時計表示モード	P18・37		
道路モード	オート切替モード	P19・21・37	GPS 機能	
レーダー感度	オート感度モード	P19・29・37	レーダー機能	
取締無線	ON	P33	無線受信機能	
カーロケ無線	ON	P31		
デジタル無線	ON	P31		
靈活系無線	ON	P32		
特小無線	OFF	P33		
レッカー無線	OFF	P33		
警察ヘリテレ無線	OFF	P33		
消防ヘリテレ無線	OFF	P33		
新救急無線	OFF	P32		
消防無線	OFF	P32		
JH無線	OFF	P33		
ワイド無線	OFF	P32		
警察活動無線	OFF	P32		
警備無線	OFF	P32		
AAC(オートアラームカット)	ON・40キロ	P30・34・37		共通
取締ポイント	ON	P22		GPS 機能
Nシステム	ON	P26		
SA/PA	ON	P27		
駐車禁止エリア	ON	P26		
白バイ出没	ON	P26		
振動センサ感度	H(高感度)	P20・38	共通	
燃費設定	未設定	P38		
タンク容量	未設定	P38		
昼間輝度	H(高輝度)	P38		
夜間輝度	M(中輝度)	P38		
強制点灯	OFF	P20		

2. 設定モードの操作

各種機能の設定は、LEFT/MEMOボタン・MUTE/RIGHTボタン、ENT/FUELボタンを操作し設定モードの中で変更します。

操作方法

① 設定モードの呼出し

ENT/FUELボタンを押すと設定モードに入ります。

② 設定項目と設定内容の変更操作

引き続き、最初に音量設定の画面が表示されます。

設定モードの表示例



画面上面: 設定項目の表示

画面下面: 設定内容の表示

ENT/FUELボタンで設定したい項目を選び、LEFT/MEMOボタン・MUTE/RIGHTボタンで内容を変更します。

③ 設定モードの終了

設定モードは、再度ENT/FUELボタンを1秒長く押すと終了します。

注意

- 設定モードに入った状態では、一切の警告アラーム動作などを行いません。
- お車を運転しながらの設定操作は大変危険です。安全のため、お車を安全な場所に駐車した状態で操作するようにしてください。

ちょっと一言

- ・設定内容の変更は、LEFT/MEMOボタン・MUTE/RIGHTボタンで設定内容を切り替えた時点で確定しメモリされます。
- ・設定モードに入った状態で、30秒間何も操作しないしていると自動的に設定モードを終了します。

(4) 設定モードの操作・表示内容

設定モードでは次の順序で設定項目を表示します。

設定項目	EL表示 (設定内容)	設定内容 LEFT・RIGHTボタンで変更
ENTボタンで切替		
音量	7(最大)	音量を8段階(0~7)に調整できます
表示モード	時計	時計表示モード
	速度	速度表示モード
	方位	コンパス表示モード
	位置	緯度経度表示モード
	走行	距離計モード
	衛星	衛星モード
道路モード	AT	オート切替モード:道路モードを自動的に切り替えます
	ALL	オールモード:全てのポイントを警告します
	HWY	高速モード:高速道路のポイントを警告します
	CTY	一般モード:一般道路のポイントを警告します
レーダー感度	AT	オート感度モード:レーダー感度を自動的に切り替えます
	EX	エクストラモード
	UL	ウルトラモード
	SP	スーパーモード
	NO	ノーマルモード
無線受信機能	ON	選択中の受信バンドを受信します
	OFF	選択中の受信バンドは受信しません
※次の順序で設定します。 350.1 M→カーロケ→デジタル→番活系→特小→レッカー→ 警察ヘリ→消防ヘリ→新救急→消防→JH無線→ワイド無線→ 警察活動無線→警備無線		
AAC	60k	時速60km/h未満で、アラームカット動作します
	50k	時速50km/h未満で、アラームカット動作します
	40k	時速40km/h未満で、アラームカット動作します
	OFF	アラームカット動作は行いません
GPS機能	ON	ポイントへの接近をお知らせします
	OFF	ポイントへの接近はお知らせしません
※次の順序で設定します。 取締ポイント→Nシステム→SA/PA→駐車禁止エリア→ 白バイ出沒		

設定項目	E L 表示 (設定内容)	設定内容 LEFT・RIGHT ボタンで変更	
振動感度	SH	最高感度	
	H	高感度	
	L	低感度	
	SL	最低感度	
燃費設定	LEFT ボタン:減 / RIGHT ボタン:増		
タンク容量	LEFT ボタン:減 / RIGHT ボタン:増		
給油情報	表示のみ 残り燃料・可走距離		
輝度(昼間)	H	高輝度	日中のE L表示の明るさ
	M	中輝度	
	L	低輝度	
輝度(夜間)	H	高輝度	夜間(ナイトディマー時)のE L表示の明るさ
	M	中輝度	
	L	低輝度	
強制点灯	H	カー電源コード未使用時に待機画面を表示します	
	L	カー電源コード未使用時に待機画面を最低輝度で表示します	
	OFF	カー電源コード未使用時に待機画面を表示しません	

※ナイトディマー機能

夜間になるとバックライトとランプの光量を抑えます。

期 間	夜 間
2月～4月・8月～10月	18時～6時
5月～7月	19時～5時
11月～1月	17時～7時

3. GPS 機能の操作

(1) オリジナルポイントの登録・消去

新しく設置された取締機やよく取締の行われているポイントなど、任意の地点を30箇所までオリジナルポイントとして登録することができます。

登録方法

① LEFT / MEMO ボタンを短く押します。

待ち受け画面を表示し、“ボーン”とお知らせします。

衛星サーチ中

② オリジナルポイントを登録します。

測位した位置をオリジナルポイントに登録します。GPSの測位状況によっては時間がかかる場合があります。登録完了時は、音声で“オリジナルポイントを設定しました”とお知らせします。GPS測位が完了しなかった場合は、登録失敗となり、“GPS測位できません”と音声でお知らせします。登録数が30箇所を越えた場合は、登録失敗となり音声で“設定できません”とお知らせします。

③ 待機画面に戻ります

登録したポイントは、次回接近時にオリジナルポイントとして警告します。

個別消去

① オリジナルポイントのGPS警告中に、LEFT / MEMO ボタンを長く押します。

② ポイントデータを消去します。

“消去しました”と音声でお知らせします。

注意

- オリジナルポイントは最大30箇所登録可能です。新たに登録したい場合は、登録内容を消去してください。
- オリジナルポイントを個別に消去するには、それぞれのポイントのGPS警告中に消去操作を行います。また、全てのオリジナルポイントを一括消去することもできます。(P46参照)

(2)GPS アラームカットの登録・消去

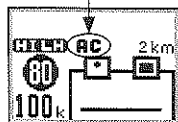
取締機・取締ポイント・NシステムのGPS 警告は、GPS アラームカット登録を行うことで接近時の音声警告をカットすることができます。

頻繁に走行するなど、よくわかっている場合に使用します。

※登録を行った場合でも、警告表示は通常どおり行います。

登録方法

- 1 GPS警告中に、LEFT/MEMOボタンを長く押します。
取締機・取締ポイントまたはNシステムのGPS警告中に操作します。
- 2 GPSアラームカット登録を行います。
音声で“設定しました”とお知らせします。
- 3 GPSアラームカット動作中は表示画面に「AC」と表示されます。



消去方法

GPSアラームカット登録を解除するには、GPSアラームカット動作中に再度LEFT/MEMOボタンを長く押します。操作後、“解除しました”と音声でお知らせした後、通常通りの音声警告を再開します。

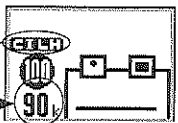
(3)通過速度の参照

取締機またはオリジナルポイントに対するGPS警告で告知した通過速度は、後で参照することができます。

- 1 本体のMUTE/RIGHTボタンを長く押します。
- 2 直前の取締機通過速度を、音声とEL表示でお知らせします。
例) “通過速度は100キロ未満です”

通過したポイントの種類
(取締機、オリジナルポイント)

速度表示



ちょっと一言

- ・動作開始後、通過履歴のない場合はお知らせできません。
- ・通過速度の履歴は、電源を切ると消去されます。

4. パスメモリの登録

受信するチャンネルの中には、地域によっては制御用あるいは中継用などとして常時電波を発信しているものがあります。そのような場合に頻繁に受信してしまう任意のチャンネルをパスメモリとして登録し、スキャンの対象外とすることができます。これにより不要なチャンネルの受信警告を防ぎ、効率的かつ実用的な受信検出が可能になります。

登録方法

- 1 頻繁に受信してしまうチャンネルを受信してから、MUTE/RIGHTボタンを長く押します。
受信したチャンネルをパスメモリに登録します。
登録が完了すると、音声で“パスメモリを設定しました。”とお知らせします。
※受信していない状態では、上記の操作を行うことができません。
- 2 受信スキャンを再開します。
登録したチャンネルは以後受信しません。

消去方法

パスメモリの消去は、消去モードで行います。(P46 参照)
パスメモリに登録した受信チャンネルは一つずつ消去することはできません。

ご注意

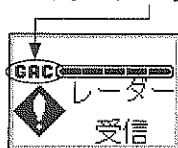
- 取締無線とカーロケ無線・警備無線については、パスメモリ登録できません。
- 無線受信機能のうち、警察/消防ヘリテレ無線・レッカー無線・新救急無線・消防無線・JH無線・ワイド無線・警察活動無線・警備無線はカー電源コードを使用しない状態では受信しません。
- 警告の必要がない場合は、設定モードで機能をオフしてください。(P36・37 参照)

5. ゴーストアラームカット (GAC)エリアの手動登録・消去


自動ドアなどの電波によるレーダー誤動作発生位置を登録できます。

GAC エリアとして登録された場所では、レーダー受信時のアラーム音を停止します。

GAC 動作中は表示のレベルメータ部分に「GAC」と表示されます。



登録方法

- 1 レーダー受信中に本体のLEFT/MEMOボタンを長く押します。
待ち受け画面を表示し、「ポーン」とお知らせします。

- 2 現在位置周辺をGACエリアとして登録します。
現在位置を中心として一定範囲をGACエリアとして登録します。
登録完了時には、「不要な電波を消去しました」と音声でお知らせします。
測位できず登録できなかった場合、「GPS測位できません」とお知らせします。

消去方法(個別消去)

- 1 GAC動作中にLEFT/MEMOボタンを長く押します。
- 2 GACエリアを消去します。
音声で「解除しました」とお知らせし、通常のアラーム警告が行われます。

ご注意

- GPSの測位状況によっては、GACエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。

6. その他の機能

(1)アラームテスト機能

待機時に本体のMUTE/RIGHTボタンを短く押すと、本機のアラーム警告のテスト動作を行うことができます。

音量の確認などに使用します。

(2)休息ガイド機能

連続使用が2時間継続したとき、ガイド音声で休息をおすすめします。

休息ガイドをお知らせしたあと、サービスエリアやパーキングエリアに接近した際にもお知らせします。

例)「ピンポーン、そろそろ2時間になります。休みませんか?」

(3)交通安全週間対応機能

交通安全週間の期間中、製品起動時に警告音と表示でお知らせします。

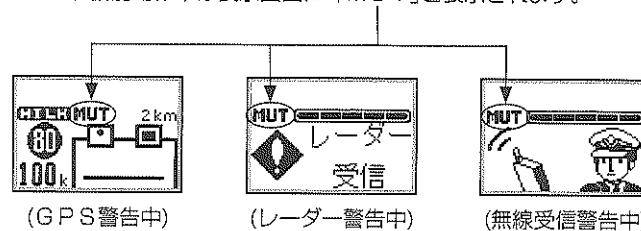
(4)ミュート機能

GPS警告中、レーダー警告中、無線受信警告中に、不要な警告音を手動で消すことができます。

操作方法

- 1 警告動作中にMUTE/RIGHTボタンを短く押します。
ミュート機能が働いて警告音が止まります。
- 2 ミュート機能の動作中に再度MUTE/RIGHTボタンを短く押します。
ミュート機能が解除され警告音が鳴ります。

※ミュート機能動作中は表示画面に「MUT」と表示されます。



7. 給油ガイド機能

走行距離を自動計算し、給油が必要な状態をお知らせする機能です。
残りの燃料で走行可能な距離を自動的に計算し、走行可能距離が100キロ未満になったときお知らせします。

※機能を有効に活用するために、それまでの実績にもとづいてお車の燃費とタンクの容量をあらかじめ登録しておく必要があります。
燃費とタンク容量の登録は設定モードで行います。(P36 参照)

(1) 給油の満タン登録

登録方法

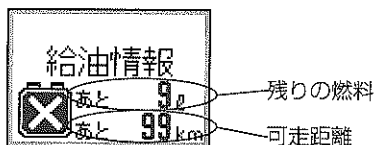
燃料を満タンに給油し、ENT/FUELボタンを長く押しします。
可走距離および燃料の使用量をリセットします。

ちょっと一言

- ・登録を行っていない項目は、表示のときにハイフン (—) で表示されます。
- ・満タン給油でない場合、残りの燃料の量を正確に検出できず正常に給油ガイドを行えない場合があります。

(2) 給油のお知らせガイド

残りの燃料で走行できる距離（可走距離）が100キロ未満になった時点でお知らせします。



ご注意

- 表示される距離・燃料情報および給油のお知らせガイドはあくまで目安です。
走行状況やGPSの測位状況によっては誤差が大きくなる場合があります。
早めの給油確認を心がけてください。

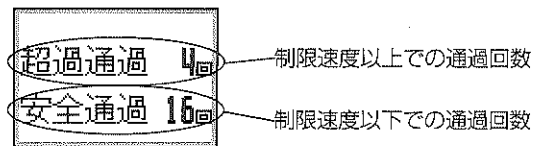
(3) 登録・保存内容の消去

消去モードから、給油ガイドの登録内容を消去することができます。
消去方法は消去モードの操作をご覧ください。(P46 参照)

8. 通過情報の表示

取締機通過回数を表示します。

MUTE/RIGHTボタンを押しながら電源をONにします。



何も操作しないで15秒間経過した時、もしくはENT/FUELボタンを押すと、その時点で、待機画面に戻ります。

9. 消去モードの操作

各種設定内容を設定項目ごと、あるいは一括して初期化することができます。

消去方法

- 1 LEFT/MEMOボタンを押しながら電源をONにします。
消去モードに入ります。
- 2 LEFT/MEMOボタン・MUTE/RIGHTボタンで消去内容を確認します。
操作毎に、消去内容を表示します。
※この時点では、まだ消去はされません。

消去モードの内容は次のとおりです。

初期化項目	初期化内容の説明
オリジナルポイント	オリジナルポイントを全て消去します
GPSアラームカット	GPSポイントのアラームカットを全て解除します
ゴーストアラームカット	ゴーストアラームカットエリアを全て消去します
給油情報	給油情報・走行距離とお車の情報を消去します
パスメモリ	無線受信機能のパスメモリを初期化します
オールクリア	全てのメモリ内容を初期化し、工場出荷状態にします

- 3 消去内容を選択し、ENT/FUELボタンを長く押します。
消去動作を行い、音声で"消去しました。"とお知らせした後、自動的に再起動します。

注意

- ENT/FUELボタンを短く押した場合は消去動作を行わず、自動的に再起動します。
- 消去モードに入った状態で、15秒間何も操作しないしていると消去動作を行わず、自動的に再起動します。
- 通過情報の初期化はできません。

10. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症状	原因
電源が入らない	● 本体の電池が消耗している。 →カー電源コードを使用してください(P13)
警告音がしない (音が出ない)	● 設定音量が低い(P37) ● 受信感度設定が低く電波の弱い場所にいる(P29) ● AACが働いている(P30・P34・P37) ● GPS測位していない(P19) ● 取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない ● 取締準備中または終了後などでレーダー取締機に電源がまいていない
取締機を警告しない	● GPS測位していない(P19) ● 新規に設置されたオービスである
取締ポイントを告知しない	● 「取締ポイント」の設定が「OFF」になっている →設定を「ON」にしてください(P37) ● GPS測位していない(P19)
Nシステムを告知しない	● 「Nシステム」の設定が「OFF」になっている →設定を「ON」にしてください(P37) ● GPS測位していない(P19)
白バイ出没ポイントを告知しない	● 「白バイ出没ポイント」の設定が「OFF」になっている →設定を「ON」にしてください(P37) ● GPS測位していない(P19)
駐車禁止エリアを告知しない	● 「駐車禁止エリア」の設定が「OFF」になっている →設定を「ON」にしてください(P37) ● GPS測位していない(P19)
取締以外で警告がでる	● 取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器が影響している場合があります
取締現場で連絡無線が受信できない	● 「取締無線(350.1M)」・「特小無線」の設定が「OFF」になっている →設定を「ON」にしてください(P37) ● 取締現場で常に無線による連絡が行われているわけではない
充電ができない	● 太陽光が十分でない →カー電源コードで充電できるか確認してください ● カー電源コード内部のヒューズが切れている →新しいヒューズと交換してください ● 電池の寿命 →カー電源コードで使用してください(P13)
画面が暗くなる	● 強制点灯の設定がLになっている →強制点灯の設定を変更してください(P38)
警告の途中で警告音が小さくなる	● レーダー波を一定時間受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります(P30)

11. 主な仕様

◇GPS受信部

- 受信周波数……………1,57542GHz
- 受信方式……………12chパラレル受信方式
- データ最大登録数……………10,000
- オービス登録地点……………約650箇所
- 取締ポイント……………登録済み
- オリジナルポイント……………最大30箇所
- Nシステム……………約1700箇所
- SA/PA……………約800箇所
- その他……………駐車禁止エリア情報
白バイ出没ポイント

◇レーダー受信部

- 受信周波数……………X/Kバンド
- 受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイナ

◇無線受信部

- 受信周波数帯……………UHF帯/VHF帯
- 受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイナ

◇外観・一般

- 電源電圧……………DC12V
- 動作温度範囲……………-10℃~+60℃
- 外形寸法……………78.5(W)×30(H)×114(D)mm
- 重量……………155g

●保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
(ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の異常電源(電圧、周波数)及びその他天災地変による故障および損傷。
(ニ)保証書のご提示がない場合。
(ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本保証書は、日本国内において有効です。

■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書(本書に刷り込まれています)は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。

■保証期間中は:保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは:お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

●あらかじめご承知いただきたいこと

修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
また、出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめ承知ください。

●商品についてのお問い合わせは

マルハマサービス フリーダイヤル 0120-08-1114
携帯電話よりおかけの方は TEL 045-251-2687